



第25回自然保護助成基金 助成成果発表会 プログラム

2019年11月30日@アーバンネット神田カンファレンス

口頭発表：2A会場（2階），ポスター発表：3B+3C会場（3階）

公益財団法人 自然保護助成基金

プログラム

※発表番号と要旨集（PN ニュース）の要旨番号は必ずしも一致しておりませんので、
 予めご了承ください。（）は要旨集のページ番号を示しています。

時間	プログラム	No.	発表団体	会場
9:30	開場			2A
10:00	開会		開会挨拶：有賀祐勝（自然保護助成基金理事長）	
10:05	口頭発表 （各7分）	1	芦生生物相保全プロジェクト（ABC project） 芦生冷温帯天然林における集水域単位のシカ防護柵の生態系機能保全効果と実用性の検証 福島慶太郎 (14)	
10:12	第28期プロ・ ナトゥーラ・フ ァンド特定テー マ助成(2年間)	2	地域の自然と生物多様性保全研究グループ 日本のシカ-植生モニタリング調査（2009, 2018）からみた地域の生物多様性保全研究 前迫ゆり (14)	
10:19	「シカ問題解決 に向けた実践的 な活動ならびに 研究」	3	霧ヶ峰高原研究会 長野県霧ヶ峰高原での防鹿柵設置による絶滅危惧動植物の保全・再生効果 小山明日香 (14)	
10:26		4	エゾシカの植生への影響評価グループ 複数の行政機関が収集したシカに関するデータの再解析と結果統合による保全対策の新提案 富士田裕子 (15)	
10:33		5	東北野生動物管理研究交流会 分布拡大初期にあるシカ個体群の低コストモニタリング手法の開発 江成広斗 (15)	
10:40		6	奥三河地域シカ害対策協議会 地域・行政・研究者の双方向通信システムを活用したシカ害対策技術の高度化 石田 朗 (16)	
10:47	口頭発表 （各7分）	7	浅間山カモシカ研究会 シカ捕獲用くくり罠による錯誤捕獲がカモシカに与える影響 南 正人 (17)	
10:54	第29期プロ・ ナトゥーラ・フ ァンド国内研究 助成	8	岐阜県二ホンカモシカ研究会 岐阜県における二ホンカモシカの被害防止および保全に向けた研究 生島詩織 (18)	
11:01		9	金華山島シカ研究グループ 金華山島におけるシカ個体数の長期継続調査に向けたドローン利用手法の確立 伊藤健彦 (21)	
11:08		10	イリオモテヤマネコ研究グループ DNAバーコーディングを用いた西表島のアンブレラ種2種の食性解析を通じた西表島生態系の保全 戸部有紗 (22)	
11:15		11	島コウモリ調査グループ 希少森林性コウモリの生態と保護：ヤンバルホオヒゲコウモリとリュウキュウテングコウモリのねぐら追跡、食性、および分布調査 PREBLE Jason Hideki (22)	
11:22		12	トカラ列島外来生物研究グループ トカラ列島口之島に生息する外来テンの影響と分布 中園和憲 (23)	
11:29		13	テントウムシ研究会 南西諸島に侵入した国内外来種のテントウムシの分布調査と在来種への影響 鈴木紀之 (17)	

11:36		14	海鳥保全グループ 新たに確認された徳島県牟岐町カンムリウミスズメ繁殖地での繁殖個体群規模の推定とネズミ類侵入状況確認 たけいしまさよし 武石全慈 (20)	
11:43		15	神子元島カンムリウミスズメ調査グループ 神子元島で繁殖するカンムリウミスズメの採餌域と採餌深度のバイオロギングによる解明 もり たかひさ 森 貴久 (21)	
11:50		16	西太平洋海鳥保全研究会 絶滅危惧IA類ウミスズメ天売島個体群の遺伝的的特性の評価とその保全への提 すぎたのりまさ 杉田典正 (20)	
11:57	質疑応答			
12:10	昼食休憩			
13:10	口頭発表 (各7分) 第29期プロ・ ナトゥーラ・フ アンド国内研究 助成	17	チャンネルキャットフィッシュ行動研究グループ びわ湖における外来魚アメリカナマズの捕獲情報収集および遊泳能力計測に基づく分布拡大予測 よしだ まこと 吉田 誠 (18)	
13:17		18	北教大-神戸大水環境チーム 北海道の在来魚群集に対するニジマスの影響評価のためのハザードマップ いまむらあきら 今村彰生 (19)	
13:24		19	有明海保全生態学研究グループ (略称: 有明海研究グループ) 諫早湾の常時開門後まで続く有明海奥部海域の底生動物群集変化の研究 さとう しんいち 佐藤 慎一 (16)	
13:31		20	オカヤドカリ保全グループ 小笠原諸島父島におけるムラサキオカヤドカリ個体群の保全に向けた基礎研究 きくちともり 菊地友則 (23)	
13:38		21	茨城県多様性保全研究グループ 世界の分布南限地において危機的状況にあるオオウメガサソウ (絶滅危惧種) の保全に関する研究~特殊な種子発芽と成長プロセスの実態を解明する~ いとうあやの 伊藤彩乃 (20)	
13:45		22	福島大東日本大震災植物多様性調査グループ 東日本大震災後の低地の残存クロマツ海岸林の現状の把握 まぶちしおり 曲渕詩織 (22)	2A
13:52		23	愛媛林研イシツチザクラ調査グループ 四国固有種“イシツチザクラ”の保全に向けた分布と遺伝的多様性についての調査研究 にしはらとしあき 西原寿明 (23)	
13:59	24	伊豆諸島自然史研究会 伊豆諸島八丈島におけるノヤギ駆除後の島嶼生態系回復状況と復元に向けた基礎調査 いわさき ゆみ 岩崎由美 (17)		
14:06	25	鹿児島大学薩南諸島森林生態研究グループ 世界自然遺産候補地奄美群島の森林生態系に関する基礎的研究 かわにしちひろ 川西基博 (18)		
14:13	26	ダイトウコノハズク保全研究グループ 北大東島における亜種ダイトウコノハズクの絶滅と再導入-環境保全の象徴種の復活- たかぎまさおき 高木昌興 (16)		
14:20	口頭発表 (各7分) 第29期プロ・	27	West African Primate Conservation Research Group Surveys and ranging behavior of critically endangered monkeys of Comoe National Park, Cote d'Ivoire	

14:27	ナトゥーラ・フ アンド海外助成		<small>まつだ</small> 松田グッドウィン <small>れいこ</small> 禮子 (現地代表者 Sery Ernest Gonedele Bi) (24)	
		28	シロハラサギ保全チーム ブータン王国の絶滅危惧種シロハラサギの採餌パターンに基づく保全活動 <small>しまのさとし</small> 島野智之 (現地代表者 Pema Khandu) (24)	
14:34	質疑応答			
14:45	休憩・移動			
14:50	ポスター発表	午前発表者 (No. 1~16) のコアタイム		3B+
15:35	ポスター発表	午後発表者 (No. 17~37) のコアタイム		3C
16:20	休憩・移動			
16:30	口頭発表 (各5分) 第29期プロ・ ナトゥーラ・フ アンド国内活動 助成・地域NPO 活動枠	29	球磨湿地研究会 熊本県久球磨地域における希少種生息湿地の保全、および維持のためのネットワーク形成 <small>いちやなぎひでたか</small> 一柳英隆 (26)	2A
16:35		30	真庭遺産研究会 豪雨災害によって繁殖地が大変し、個体群が流出したオオサンショウウオの保護活動 <small>とくながたくみ</small> 徳永 巧 (27)	
16:40		31	外来ネコ問題研究会 島嶼における外来ネコ問題対策への支援と普及啓発及び新たな対策提言 <small>いししいのぶお</small> 石井信夫 (24)	
16:45		32	奥雲仙の自然を守る会 (29期地域NPO活動枠) 雲仙天草国立公園・田代原草原におけるミヤマキリシマ保全活動 <small>きのしたみつこ</small> 木下美津子 (28)	
16:50		33	沼の平保全活動グループ(28期) 山岳湿原の保全のための基礎調査と市民参加型保全活動への展開 <small>みきのぼる</small> 三木 昇 (28)	
16:55		34	若者世代と自然をつなぐ会 芦生の森での協働事業を通じた若者世代の参加を促すマニュアル作成による自然保護活動の持続可能性向上 <small>あかいしだいすけ</small> 赤石大輔 (25)	
17:00		35	海の生き物を守る会 日本の砂浜生態系を保全するための市民参加型調査 <small>むかいひろし</small> 向井 宏 (26)	
17:05		36	バードリサーチ バードウォッチングを野鳥の保全につなげる仕組み作り <small>こうやまかずお</small> 神山和夫 (26)	
17:10		37	伊豆諸島植生研究グループ 伊豆諸島植生誌-草原と人里の植生-の編纂 <small>かみじょうたかし</small> 上條 隆志 (25)	
17:15	質疑応答			
17:25	閉会		講評：高槻成紀 (PNF助成審査委員長) 閉会挨拶：高島輝久 (自然保護助成基金専務理事)	
17:35	休憩・移動			
17:50	懇親会			3B+
19:10	終了			3C

※28期国内活動助成「沼の平保全活動グループ」の発表は昨年延期されたため、今年発表。

※29期特定テーマ助成は2年間プロジェクトのため、来年発表。

会場内の諸注意

- 会場内での撮影は、原則禁止です。撮影する場合は、発表者の許可を得てください。
- 当財団の記録用として会場内の様子、ポスターを撮影させていただく場合があります。
- 会場内では、スマートフォン、携帯電話はマナーモードに設定の上、通話はお控えください。
- 飲食は、発表会場内のみ可能です。ロビーでの飲食はご遠慮ください。
- 他の会場使用者への迷惑となる行為（大声での会話や足踏みなどの振動を生じる行動）はご遠慮ください。
- 喫煙は所定の場所（3F 喫煙室）でお願いいたします。
- 会場内は混雑が予想されますので、手荷物・コートなどは隣の席に置かず、所定の場所に置いてください。
- 3B+3C 会場は、懇親会会場として使用しますので、16:30～17:50 の間は準備のため部屋を閉め切ります。3B+3C 会場には荷物を置かず、2A 会場までお持ちください。

発表者諸注意

- 口頭発表の発表者は、前の発表者が発表する際、前方のスタンバイ席にて待機して下さい。
- ポスターを当日持込の方は、13:10 までに掲示してください。発表番号が付いているパネル（またはホワイトボード）に掲示してください。
- タイムスケジュールのため、口頭発表は時間厳守でお願いします。発表時間を過ぎても発表が終わらない場合、強制終了とさせていただきます。
- 口頭発表ではセッションごとに 10 分程度、質疑応答の時間を設けております。ご質問のある方は挙手をお願いします。スタッフがマイクをお持ちします。短時間のため、全てのご質問をお受けできない可能性がございます。あらかじめご了承のうえポスター発表の時間もご活用ください。
- ポスター発表の時間帯（14:50～15:35、15:35～16:20）は、自分の発表時間以外は他の団体のポスター発表を聞くようにしてください。
- ポスターは、全てのポスター発表終了後、速やかに 16:30 までに撤去してください。